

兵子道迷い(2006年6月)

烏帽子山～兵子～姥湯温泉へ計画。残雪のため、兵子からの下りで道に迷い、同じところで4回も往ったり来たり。最後に長く下ったところ、大きな滝が眼の前に出てきた。姥湯温泉を諦め、浄土平へ目的地を変更し帰宅することにした。再度、家形山で迷い、知らず知らずに北上し霧ノ平へ進んでいることが分った。第2目的地の浄土平を諦め、滑川温泉へ下り事なきを得た。



解説

兵子(ひよっこ)からの下りは、残雪があった。道に迷ったところは、尻セードの跡があり道と思い下った。下ると道が無くなり、尾根まで引き返す。小雨が降り、ポンチョも着けていたため、ザックの中の地図とコンパスは出さない。浄土平へ目的地を変更しようとしたが、道標「兵子～姥湯温泉」を見た時、「よし、行ってやろう。」と思った。これを4回繰り返す、最後に滝が出てきて初めて目的地の変更となる。しかし、ここでも地図とコンパスは出さない。家形山から浄土平へ下っているつもりが、残雪の無くなった道を霧ノ平方面へ北上していることを確認して間違いに気付く。再度、目的地を滑川温泉に変更し事なきを得た。

同じ所を4回往復した時点で、「地図とコンパス」を出さない心理は、なんだろう。めんどくさいと書かれていたが、心のどこかに「地図を見なくても頭の中に概念図が入っているので、大丈夫」という気持ちがあったのかもしれない。冷静に考えれば、すでに道迷いをしているのだ。

道迷いを防ぐ方法は、「基本に忠実」である。道のない山の中で、地図とコンパスの講習会を行なったことがある。一番正確にポストに辿り着いたのは、地図とコンパスの経験がある受講生ではなく、地図とコンパスを使用するのが初めての「小学生」であった。